

『幸い求めて さまよう者に
み恵みの露を ふらしたまえよ
天をあおぎて われ待ち望む
愛のみあるじ
あわれみたまえ あわれみたまえ』
(カトリック聖歌集より)

December

酒田だより

お知らせ



12月のミサ
1日 第一日曜日
15日 第3日曜日
23日(月) 主の降誕夜半ミサ

☆クリスマスの飾りつけ 11月24日ミサ後に実施します。

(今年は12月1日に飾る予定でしたが、司教様が酒田にいらっしゃいますので11月24日に変更しました。)

☆12/1(日) 成井司教様による献堂記念ミサが行われます。

昼食会・司教様のお誕生祝も致します。

「酒田教会の取り組み計画」説明とご指導

☆12/23(月) 主の降誕夜半ミサ(詳細は12月スケジュールに記載しています。)

12/25(水) 主の降誕日中ミサは鶴岡で与ってください

☆掲示板補修について

関係者の指摘・意見を基に検討の結果 予算11万円で11月末ごろから工事開始します。

12月スケジュール

1日(日) 待降節第1主日
ミサ
成井司教様によるミサ
献堂57周年記念ミサ
昼食会 司教様のお誕生祝
8日(日) 待降節第2主日
みことばの祭儀
15日(日) 待降節第3主日
ミサ
話し合い
22日(日) 待降節第4主日
みことばの祭儀
23日(月) 主の降誕夜半ミサ
メディテーション 18:45
ミサ 19:00

24日(火) 主の降誕夜半ミサ
鶴岡教会
25日(水) 主の降誕日中ミサ
鶴岡教会 10:00

29日(日) 聖家族
みことばの祭儀

(待降節第1主日からC年の開始になります)
ミサ・みことばの祭儀 11:30a.m.

12月朗読当番

1日	先唱	柿崎圭介	22日	祭壇奉仕	柿崎圭介
待降節第1	第1朗読	今野幸子	待降節第4	第1朗読	折坂志津枝
	第2朗読	齋藤純子		第2朗読	佐藤浩子
8日	祭壇奉仕	荻原徹	23日(月) 主の降誕 夜半	先唱	西村浩太郎
待降節第2	第1朗読	折坂志津枝		第1朗読	今野幸子
	第2朗読	佐藤浩子		第2朗読	荻原徹
15日	先唱	西村浩太郎		メディテーション	
待降節第3	第1朗読	柿崎圭介	29日	祭壇奉仕	荻原徹
	第2朗読	ヤグナ		第1朗読	齋藤純子
				第2朗読	ヤグナ

祈祷の使徒
教皇の意向
希望の巡礼者
日本教会の意向
神学生の召命





パンくずを大切に

キリストはある日わずかなパンと魚をもって。おびたしい群衆を満腹させました。これは彼が持っておられた不思議な力による奇跡です。けれども私はその出来事よりもキリストの弟子たちにおっしゃった言葉が印象的です。それは「無駄にならないようにパンくずや食べ残しを集めてください」との言葉です。

考えますと、私たちもこの勧めを両親たちからしばしば聞かされていたのではないのでしょうか？

“Don't throw that out” (それをすてないで)

“Save it for later” (それを取っておいて)

“Don't waste food like that” (食物を大切に)

“Put your leftover in here” (食べ残しをここに入れて)

もし、キリストが「飢え死にに直面している子供たちを考えてみなさい」との言葉を加えられたなら、もっと良かったと思ったりするときもあります。

パンくずや微々たるものやかけらに過ぎないものは、私たちの体のためにも心のためにも大事ですと、キリストが私たちに呼びかけていると、思えてなりません。

豪華なパーティーが終わってからも、ふと耳にした誉め言葉微笑みは長く心に残り、元気づけてくれることだってまれではありません。講話のなかで聞いた、あるいは本の中で読んだ一つの考え、また音楽などの短い旋律などが私たちの記憶に不思議にも印象深く残るものです。

これらのパンくずに等しいものを今よりもっと大切にしたい……。

不思議な出来事はまれかもしれませんがパンくずのようなものは日常生活にいっぱい散らばっています。それらに気づき。集めましょう。

自分と周囲の人々の幸せのために。

「私たちはいい人だから愛されているのではない。愛されているからいい人になれる」
私はこの言葉が好きです。

クリスマスもまじかに迫り、思いやりと理解の愛を注いで、
いい人をたくさんはぐくみましょう。

“We are loved not because we are good.

We are good because we are loved.”

(ステファノ・デランジェラ落ち葉「いい人生というために」より)